

## お釈迦様の微笑みをもとめて (住職のインド旅行記：第3話)

これまでは、第1話) 誕生の地 ルンビニ 第2話) 涅槃(逝去)の地 クシナガラ という、仏教の開祖お釈迦様の『4大聖地』と呼ばれるうちの二つを紹介させていただきました。順番でいうと残り二つを紹介したいところですが、今回は春のお彼岸法要でお話する法話に関連する町、『ラージギル』という場所をご紹介させていただきたいと思います。この町は、日本仏教 13 宗派の中の一つである我々のお寺の『時宗』や、浄土宗・浄土真宗といった浄土門系各宗派にとって、インドにある町の中でも特に縁のある場所です。



まず左上の写真をご覧下さい。一番前の右側（黒い作務衣）で礼拝しているのが私です。ここは『霊鷲山（りょうじゅせん）』という山の頂上でお釈迦様が存命時に、よくここで説法されていた場所だそうです。この山の名の由来は、私たちが礼拝した場所の裏にあった左下写真のような鷲の顔をしたような大きな岩があることから名付けられました。それでは、この山が特に時宗とどのような関係があるのでしょうか。



この山でお釈迦様が説法をされていた頃、この領域を治めていたマガダという国のお城が山の近くにありました。そのお城には王様夫妻とその後継である王子様が住んでいました。しかしその王子が、あることから父王を牢獄に閉じ込めて王位を奪うという事件を起こしてしまいます。その後、その王様を助けようとした母までも投獄した王子でしたが、その出生にはある悲しい物語がありました。そしてその物語の原因を作った

のは、実は後継ぎが欲しかった王様夫妻の自己中心的な生き方にあったのです。それに気づかないまま嘆き救いを求める母でしたが、お釈迦様によって自らの罪深さを改めて知ることになり、その利己的な心を払い去られた『称名念仏』によって救済されていきます。

このお話は『王舎城の悲劇』という仏話です。そしてこのお話は、私が皆さんの法事や月参りなどでお読みしているお経『観無量寿経：仏告阿難（ぶつごうあなん）・・・』で始まるお経の中に書かれています。この観無量寿経は、時宗だけでなく「浄土宗」や「浄土真宗」という日本の浄土門系各宗派でも読まれ、その拠り所として大切にされています。



ちなみに左写真は父王と母が投獄された牢屋跡で、今もなお現存しています。また赤矢印の部分が先程の鷲の大岩があった場所（お釈迦様が説法されていた所）になります。このように皆さんがいつも聞いているお経は、インドから伝来したお釈迦様の真実のお言葉なのです。

3月のお彼岸では、この観無量寿経のお話をしたいと思います。お釈迦様が何を語られたのか、是非お寺に来てお聞き下さいね。

### 【平成26年のお寺行事（予定）】

月	日	行事	内容
3月	21日	春彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	24日	春彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
4月	8日	釈迦生誕祭(花祭り)	花見堂を設置しております。随時お参り下さい。
8月	7日	盆墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	16日	盆施餓鬼 ・初盆精霊供養法要	午後2時より、本堂にて。 併せて本年の初盆精霊をお供養します。
	23日	地藏盆【地域行事】	午後6時より、本堂地藏尊前にて。
9月	23日	秋彼岸墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。
	26日	秋彼岸塔婆供養会	午後2時より、本堂にて。
12月	7日	授戒会（別時念仏会）	午後6時より、時宗真光寺にて（予定）。
	8日	成道会・永代墓納骨供養	舞子墓園にて。（時間未定）
	27日	歳末墓参	午前中、舞子墓園普照院墓地にて。

\*変更等がある場合は、後日ご連絡させていただきますので、ご容赦下さいませ。

〔編集後記〕今回は記事が盛りだくさん過ぎて書けませんでした～(´；ω；`)

合掌

発行：[時宗 慈光山 普照院] 責任者 小田義宗

☎652-0853 神戸市兵庫区今出在家町4-1-29

電話・ファックス 078-671-1787 ホームページ <http://fusyoin.com/>

● facebook ページ『普照院』、随時投稿中です。 



これからは、お寺もどんどん情報を発信します。

とくに次世代をになう、若い方々・お子様たちに教えてあげてください。

